

大阪+知的障害+地域+おもろい=創造

## 知の知の知の知

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所情報誌通算 3510号 2017.2.10 発行

### 基山のNPO、給付費不正 2300万円請求 県、指定取り消し

佐賀新聞 2017年02月09日

佐賀県は8日、三養基郡基山町で障害児の放課後等デイサービスを運営するNPO法人「障害児・者の自立を支える会ASOBOW」（鳥栖市、古賀敏久会長）に対し、人員や運営基準に関する違反があったなどとして、20日付で県の指定を取り消すと発表した。虚偽報告をし、自治体からの給付費約2300万円分を不正請求していた。

県によると、事業所は2012年に指定した「放課後等デイサービスセンターあそぼ〜会」。サービス提供の児童発達支援管理責任者は1人以上の専任、常勤の指定要件があるが、兼務だったほか、勤務実態に応じて減額申請すべき分も不正に請求していた。監査や実地指導に対し、偽造した計画や勤務実績を報告していた。15年の実地指導で不審な点に気付いて調査し、不正が発覚した。利用登録は1月時点で45人。

事業者は「制度をきちんと理解していなかった。（管理責任者が）産休、育休を取った場合の手続きの仕方も分かっていなかった」と釈明しているという。関係市町が事業所への給付額を精査した上で、返還請求する。

今回の不正発覚に伴い、県が他の事業者の人員基準を確認した結果、他に誤って4事業者を指定していたことも分かった。県障害福祉課は「12年度からこの制度が始まり、人員基準の認識を誤っていた」と陳謝した。

### 障害者差別の解消 対話で 新潟市 推進会議が初会合 新潟日報 2017年2月9日

新潟市障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例推進会議の初会合＝7日、新潟市中央区



障害を理由にした差別を禁じる「新潟市障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例」に基づく初の推進会議が7日、新潟市中央区一番堀通町の白山会館で開かれた。障害者団体や商工、医療福祉、教育関係者ら23人の委員が出席し、誰もが暮らしやすい社会の実現に向けて認識を深めた。

条例は2016年4月に施行された。障害者手帳の有無にかかわらず、障害や社会的障壁により生活に制限を受けている人が対象。差別を禁止する一方、差別をした人への糾弾が差別意識を助長するとして罰則を設けず、話し合いによる解決を図る。

推進会議は、差別の解消や周知啓発について調査、審議などを行う場として、年1回をめぐりに開かれる。

この日の会議では、条例や推進会議の役割の説明のほか、「視覚障害者に自署を要求した」「盲導犬同伴を理由に飲食店への入店を断られた」など、差別として寄せられた相談事例

の共有などが行われた。出席者からは「中学生向け副読本の誤解を招く表現を訂正してほしい」「全ての人がかげがえのない命であるという教育に力を入れてもらいたい」などの意見が出た。

推進会議会長の長沢正樹・新潟大大学院教授は「市民それぞれが意識を高めることで、この条例が生きてくる。市民や事業者に何かを押しつけるのではなく、話し合いの中でやれることをやってもらいたい」と期待を寄せた。

### 認定介護福祉士へ全国初の研修 長野県で30人が受講



福祉新聞 2017年02月09日 編集部  
講義する太田貞司・京都女子大教授（2016年12月24日。写真提供＝長野県介護福祉士会）

介護福祉士の新たなキャリアパスの仕組み「認定介護福祉士」の養成研修が昨年12月24日、長野県内で始まった。介護福祉士30人が2018年9月まで演習を含む計600時間の研修を受講する。

研修は長野県介護福祉士会（畠山仁美会長）の主催。「一般社団法人認定介護福祉士認証・認定機構」（理事長＝大島伸一・国立長寿医療研究センター名誉総長）が16年12月に認証した。同機構の認証した研修はこれが初めてで、今後は他県でも研修の認証が進む見通し。

研修の科目は生活支援を軸に医療やリハビリテーションとの連携の在り方を学ぶものや、マネジメントに関係するものが中心だ。

認定介護福祉士は介護の根拠を言語化できる介護職チームのマネジャーで、同機構が認定する。認定されるには介護福祉士として5年以上の実務を積んだ上で研修を修了し、同機構に申請することが必要だ。

受講料は主催者により異なるが、同県介護福祉士会の研修の場合は約60万円（同会会員は約35万円）。職場が受講料の一部を負担するなど一定の条件を満たす場合、長野県が1人3万4000円補助する制度がある。

県地域福祉課は補助制度について「介護福祉士の地位向上に向けた先行投資だ。学んだことが職場で生かされて初めて意味がある。受講者の職場にはそのつもりで研修に送り出してほしいので、職場が費用負担することを補助の条件とした」と話す。

認定介護福祉士は、07年に改正社会福祉士及び介護福祉士法が成立した際、衆参両院から、より専門的な対応のできる人材の育成が求められたことを受けてつくられた。

### 保育園の扉の下敷き、2歳児けが 壊れたまま放置 朝日新聞 2017年2月9日

兵庫県西宮市北名次町の「夙川夢保育園」で、壊れたまま放置されていた保育室の扉（約20キロ）が倒れ、2歳の園児が下敷きになって顔などに軽傷を負ったことがわかった。頭を打っており、経過観察が必要という。市は保育園を運営する社会福祉法人「夢工房」の理事長らに口頭で再発防止などを指導した。

法人によると、6日午前7時50分ごろ、通園する男児が保育室に入ろうと扉に触れた際、倒れた扉の下敷きになった。扉は木枠にガラスがはめ込まれた引き戸。昨年12月に外れかけたことがあり、保護者から「開きにくい」と指摘があった。今年4日にも園児3人が触った際に外れたという。

法人の理事長らは6日夜にけがをした男児の自宅を訪れ、両親に謝罪。9日夜に保護者

への説明会を開くという。法人は「安全管理、危機管理への意識が足りなかった。管理を徹底する」と話している。

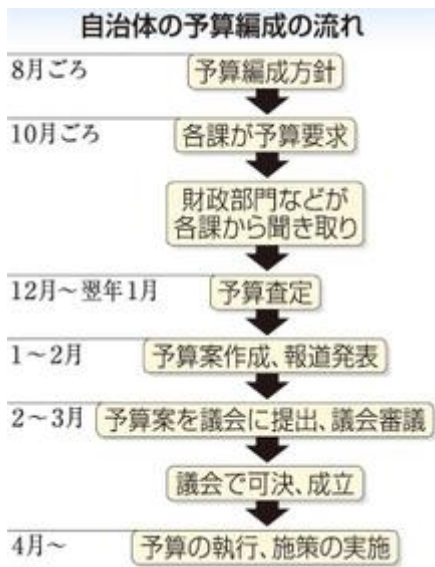
**児童ポルノ提供の疑い、放課後児童クラブ職員を逮捕** 朝日新聞 2017年2月8日

愛知県警は8日、埼玉県富士見市鶴馬3丁目、同市社会福祉事業団・放課後児童クラブ職員新藤武佐士容疑者(22)を児童買春・児童ポルノ禁止法違反(児童ポルノ提供)の疑いで逮捕し、発表した。「間違いありません」と容疑を認めているという。

半田署によると、新藤容疑者は昨年12月5日、男児の性器が写った写真のデータを、スマートフォンの無料通信アプリを使って群馬県伊勢崎市の男性会社員(21)に送って閲覧させた疑いがある。男児は5~14歳ぐらいとみられ、顔は写っていないという。

**これで「予算」が分かる！仕組みやキーワード解説**

神戸新聞 2017年2月9日



一般・特別会計、地方交付税、義務的経費…。兵庫県や市町の予算記事に毎年並ぶ言葉です。「税金の使い道をチェックしたいのに、用語が難しく、内容がすっと頭に入っていない。そんな声も読者から寄

県議会、市町議会の開会予定日	
2月	14日 赤穂市
	15日 篠山市
	17日 兵庫県、神戸市、川西市
	20日 尼崎市、伊丹市、三田市
	21日 西宮市、明石市、宝塚市、芦屋市、稲美町
	22日 猪名川町、香美町
	23日 姫路市、加古川市
	24日 西脇市、丹波市、*養父市
3月	27日 相生市、高砂市、三木市、小野市、加西市、朝来市、太子町
	28日 宍粟市
	1日 加東市、たつの市、上郡町、市川町、神河町、*新温泉町
	2日 多可町
	3日 *豊岡市、福崎町、佐用町
7日 播磨町	
未定	洲本市、南あわじ市、淡路市

(\*は見込み)

せられます。新年度予算案の発表シーズンに合わせ、その仕組みや頻繁に使われるキーワードの意味などをまとめました。(黒田勝俊)

■役割/年間の活動計画を示す

「行政」と呼ばれる国の機関や都道府県、市町村は、毎年4月から翌年3月末までの「年度」を基準に動いています。新しい年度が始まる前に作るのが「当初予算案」で、どんな支出があり、それにどんな収入を充てるのかが書かれています。

いわば年間の活動計画です。予算案を見れば、自分が住む街の“家計事情”も見えてきます。

ちなみに、予算に「案」が付いているのは、議会の了解をまだ得ていないからです。知事や市町村長が作った予算案を、同じく住民の代表である議員がチェックした上で、正式な予算となります。年度の途中に、予算を追加したり変更したりするのが「補正予算」です。

■歳入・歳出/収入不足を“貯金”で補う

予算は大きく、歳入(収入)と歳出(支出)に分けられます。歳入と歳出は同額です。

歳入の種類(収入源)には、地方税=キーワード【1】▽地方交付税=【2】▽国庫支出金=【3】▽地方債=【4】などがあります。

また歳入には、自治体が自らの権限で確保した「自主財源」(地方税など)と、国などが

ら交付された「依存財源」（地方交付税や国庫支出金）などに分けられます。歳入に占める自主財源の割合が高いほど自立していることになり、予算記事でも「自主財源比率が前年度比△%減の□%」などと使われます。

税収が豊かで、地方交付税を受け取らなくても財政運営できる自治体は「不交付団体」と呼ばれます。兵庫県内では、かつて芦屋市が“常連”で、08年度には高砂市と播磨町も不交付でしたが、09～16年度はゼロ。16年度は全国で77自治体あり、都道府県では東京のみでした。

歳出を説明する記事では、具体的な使い道のほかに、「義務的経費」「投資的経費」という言葉がよく登場します。義務的経費とは、職員の人件費▽扶助費＝【5】▽公債費＝【6】などで、削るのが難しい経費のことです。投資的経費は、公共施設のインフラ整備費などを指します。義務的経費が多いほど、新しい事業を行う余裕がない、ということになります。

予算も家計と同様、基本的に収入の範囲内でしか支出ができませんが、収入が不足し「収支不足」が生じることもあります。こうした場合は基金＝【7】を取り崩したり、地方債を発行したりして対応します。

#### ■キーワード

【1】地方税 自治体が住民や企業から徴収する税金で、個人住民税や法人事業税などが収入の中心。都道府県税と市町村税に分かれる。

【2】地方交付税 全国のどの地域の住民も一定水準の行政サービスが受けられるよう、税収が少ない自治体などに国が交付する。

【3】国庫支出金 地方交付税と同じく国から交付されるが、特定の事業に使い道が決められている。

【4】地方債 自治体が資金を調達するための借金。地方債を発行して借金をすることを「起債」という。

【5】扶助費 生活保護や児童福祉、高齢福祉、障害福祉などの現金・物品給付のための経費。生活保護費や児童手当などが該当する。

【6】公債費 地方債の元金や利子を支払うための借金返済費。

【7】基金 家計でいう預貯金。使い道が制限されない「財政調整基金」や、特定の目的のために積み立てた「特定目的基金」がある。

## ジャンパー以外にワイシャツやマグカップも 不適切と小田原市

NHKニュース 2017年2月9日

神奈川県小田原市の職員らが、生活保護の不正受給は許さないという趣旨の文言が書かれたジャンパーを着て、受給者の家庭を訪問していた問題で、職員らは、ほかにも同じような文言が入ったワイシャツやマグカップなどを作っていたことがわかり、市は不適切だとして、再発防止策を検討しています。

この問題は、小田原市で、生活保護受給者の支援を担当する職員らが、「生活保護悪撲滅チーム」という言葉をローマ字で表したという「SHAT」や「不正受給をしようとする人間はカスだ」という趣旨の英語が書かれたジャンパーなどを着用して、業務にあたっていたものです。

この問題について小田原市は9日会見し、これまでの調査結果を公表しました。

それによりますと、職員らはほかにも同じような文言が入ったワイシャツ、フリース、携帯電話のストラップ、マグカップ、パソコンのマウスパッド、Tシャツ、ボールペンを作っていたということです。

業務中に職員が使っていたほか、人事異動の際の記念品として作られたものもあったということです。

市は今後、外部の有識者による検討会を設置し、今年度中に再発防止策をまとめること



にしています。小田原市福祉健康部の日比谷正人部長は「改めて検証を進め、人権に関する研修を行っていききたい」と話していました。

#### 精神指定医、口頭試問導入へ 不正取得受け厚労省 日本経済新聞 2017年2月8日

厚生労働省の有識者検討会は8日、措置入院の可否などを判断する「精神保健指定医」制度の見直しなどを盛り込んだ報告書を取りまとめた。実際には診療していない患者の症例レポートを提出するなどの不正が続出したことを受け、口頭試問の導入を提案した。今国会に精神保健福祉法の改正案を提出する。

指定医の資格申請の際には、統合失調症など6分野8症例以上のレポート提出が必要。だが、2015年に聖マリアンナ医科大学病院の医師が症例を使い回すなど虚偽のレポートを提出していたことが発覚した。その後、厚労省の調査で医師89人の不正が確認された。

検討会は、資格取得の申請者が診療経験をきちんと積んでいるか確認する必要があると判断。レポート提出に加えて口頭試問を導入すべきだと提案したほか、国に対し指導する立場の医師の要件を法令に位置づけるよう求めた。

報告書は相模原市の障害者施設殺傷事件を踏まえ、指定医の新規・更新時の研修内容の見直しも提案した。容疑者が事件前に措置入院し、退院後は通院が必要だったのに治療を中断したためだ。指定医の研修内容には退院後の継続的な支援の取り組み方などを追加すべきだとした。

#### 認知症対応、明るく元気に うるま市で「こかげ」が寸劇、100人学ぶ



琉球新報 2017年2月9日  
認知症の症状や接し方について劇で披露した市民芸術劇場附属演劇集団「こかげ」＝1月27日、うるま市健康福祉センター「うるみん」

【うるま】うるま市社会福祉協議会（平川崇賢会長）は1月27日、認知症の症状や接し方などについて学ぶ「地域力アップ支援会のまちづくり講演会」を市健康福祉センター「うるみん」で開催した。講演会では、市民芸術劇場附属演劇集団「こかげ」の芝居「トキおばあのお宅へめんそーれ～認知症高齢者への接し方」と題し、寸劇を披露した。地域の民生委員や関係団体など100人余りが参加し、劇を見ながら認知症について学んだ。

と題し、寸劇を披露した。地域の民生委員や関係団体など100人余りが参加し、劇を見ながら認知症について学んだ。

劇では、認知症の症状を事例として披露した。認知症高齢者の徘徊（はいかい）症状が見られた場合には、ともに散歩する、玄関にベルを付ける、住所や連絡先などを衣服に記入しておくなど注意すべき事項を紹介した。

劇の最後には「介護は24時間、365日昼夜関係ない。一人一人が健康で明るく元気に接することが、介護される人にとっても幸せだ」と締めくくった。

#### 日本型介護サービスをアジアへ 協議会初会合 NHKニュース 2017年2月9日

高齢化が進むアジア地域に日本型の介護サービスを普及させようと、政府は医療介護分野の専門家らによる協議会の初会合を開き、現地で活躍が見込める介護人材の育成や、自立支援を重視したサービスの普及に取り組む方針を確認しました。

政府は、高齢化が進むアジア地域で、日本の民間の介護サービスへの関心が高まっているとして、海外へ進出する介護事業者が円滑に資金調達を行えるように、官民ファンドからの出資を受けやすくすることなどを盛り込んだ基本方針をまとめました。

この具体化に向けて政府は9日、東京都内で、医療介護分野の専門家や関係団体の代表、それに民間の介護サービス事業者らが参加した「国際・アジア健康構想協議会」の初めての会合を開きました。

会合では、現地で活躍が見込まれる介護人材の育成を後押しするため、日本で介護福祉士の資格の取得を目指す人に対し、あらかじめ基礎となる日本語や専門用語を学べる学校を設立することや、超高齢化社会を見据えて、寝たきりの予防など自立支援を重視する介護サービスの普及に取り組む方針を確認しました。

### 子育てグッズBOX 新生児に無償配布

協定を締結した松井知事（左）と藤井理事長（府庁で）

府と大阪いずみ市民生活協同組合は8日、府内で4月2日から来年4月1日までに生まれる全ての子ども（約7万人を想定）を対象に、お尻ふきや離乳食などの子育てグッズが入ったプレゼント「お誕生日BOX」を無償で配布すると発表した。

教育や福祉、環境などの分野で地域支援に取り組む同生協が、子育てなど8分野での包括連携協定を府と結んだことから実現した。

費用は生協側が負担し、メーカーなどにも試供品の提供などを呼びかけて、内容を充実させる。府は市町村と協力し、出生届を提出した家庭にプレゼントについて案内する。

この日、府庁で行われた協定の締結式で、松井知事は「府民のニーズに合った支援はありがたい」と述べ、同生協の藤井克裕理事長は「同様の支援を10年間は続けたい」と話した。

読売新聞 2017年02月09日



### 介護施設の事故防げ 職員らに弁護士講演 加古川

神戸新聞 2017年2月9日

介護事故の判例について解説する谷林一憲さん＝加古川市加古川町寺家町、東播磨生活創造センター「かこむ」

介護施設などで起こった事故の判例を学ぶ講演会が8日、兵庫県加古川市加古川町寺家町の東播磨生活創造センター「かこむ」であった。姫路市で法律事務所を開く谷林一憲さん（52）が、行政関係者や施設職員ら約30人に講演した。

講演会は、成年後見制度などを学ぶ研修会の特別編として、高砂市の司法書士梅谷正太さん（38）が開いた。研修会は2015年4月から毎月開催。福祉・医療関係者が参加し、これまでに30回以上開いてきたという。今回は介護事故の実例を知り、対応に生かそうと弁護士を招いた。



谷林さんは権利意識の高まりなどから、介護施設に対して民事訴訟を起こす件数が増えている現状を説明。徘徊（はいかい）中に電車にはねられ死亡した認知症患者の家族が、JR東海から損害賠償を求められた訴訟で、家族の賠償責任を認めないとした最高裁判決や、認知症患者が施設から抜け出し死亡した事故で、施設の過失を認めた福岡地裁判決を解説した。

谷林さんは「結果責任が問われているのではない。施設の設備や人員配置が適正だったかが重要」と述べた。参加者からは「高齢者の交通事故の場合、責任はどうなるのか」「施設での軽微な転倒事故後に認知症が進み、トラブルとなったが、どう対応すればよいか」などの質問があった。（小林隆宏）

## SPEED 今井絵理子はいま



議員になって半年余り。ことしはじめの参議院議員の資産公開では、対象となった121人中3位で、1億円近い資産を所有していることが明らかになり、注目を集めました。はじめての通常国会に臨んでいる今井さんは、今、何を考え、どんなことに取り組んでいるのか。SPEEDの人気絶頂期、当時、中学生で、みずからもファンの1人だった、政治部の木下隆児記者が取材しました。



方にお目にかかる機会があったんです。その時に、『掃除を頼む』とお願いされたので、月に1回、こうやって磨いているんです。『国会議員として、ふるさと沖縄のためにも頑張ろう』って、毎回、気持ちが改まります。

### 立候補決断まで2週間

SPEEDで活躍し、解散後も、芸能界で順調な歩みを進めていた今井さん。2004年に20歳で結婚。その年、男の子を出産し、転機が訪れました。生後3日目の検査で、男の子の耳に障害があることがわかったのです。現実を受け止められなかった今井さん。「息子に伝わらないのなら、これ以上歌っても意味がない」と、音楽を辞めることまで考え、涙が止まらなかったといいます。

それでも、家族や周囲の支えで、少しずつ前向きに歩み始めました。手話を覚え、聴覚障害者を支援するボランティア活動に取り組むようになりました。2010年からは、NHKの番組「みんなの手話」の司会も務めました。一方で、SPEEDも再結成され、歌手としてもチャリティーコンサートや武道館でのライブなどの活動を続けてきました。立候補のきっかけは何だったのか、なぜ、政治家になろうと考えたのか…。

Q 立候補までのいきさつは？

A きっかけは、芸能界の先輩でもある、山東昭子参議院議員です。山東さんは、聴覚障害児や、その家族の支援活動を行っている団体、『聴覚障害者教育福祉協会』の会長をしていて、実は、7年前からおつきあいさせてもらっていました。去年1月に、ある会合で、山東さんから、立候補の打診を受け、『2週間で決めて』と言われまして…。考える中で、政治という道もあるかな、川の流れに身を任せてみるという選択もあっていいし、一生懸命やっていけたらなという思いが芽生えて、決断しました。

Q 母親として、お子さんとの関係に変化は？

A 特に変わりはないですね。芸能界で働いてきたので、息子からすれば、もともと『働く

NHKニュース 2017年2月9日

1990年代後半に若者の圧倒的な人気を集めた、沖縄出身の歌手グループ、SPEED。当時、メンバー4人は小中学生で、「White Love」や、「my graduation」など、ミリオンセラーのヒット曲を連発し、トップミュージシャンに上りつめました。メンバーの1人で、リードボーカルの今井絵理子さんは、去年7月、参議院選挙に自民党の比例代表から立候補し、初当選を果たしました。

### シーサー磨くその心は？

年明け1月18日の自民党本部。1階玄関にある、沖縄で魔よけとして伝わるシーサーの置物を、ひとりの女性が磨いていました。よく見ると、去年7月の参議院選挙で当選した、沖縄出身の今井絵理子さん。“沖縄コンビ”との遭遇に、思わず理由を尋ねると、今井さんは笑顔で語りました。

参議院選挙が終わって、このシーサー像の作者の





お母さん』であって、仕事は変わっても、その立場に変わりはありませんから。逆に、レコーディングとかロケなど、1日ばかりでやる芸能界に比べると、今のほうがスケジュールを立てやすく、子どもと一緒にいる時間が増えた面もあるんです。



一方の山東議員は、こう話します。「彼女は、障害者福祉政策だけにとどまらず、自分の幅を広げようと、エネルギーに勉強し、行動していますよ。芸能界での経験もいかしながら、文化・芸術や、経済、観光などを引っ張っていく存在になると期待しています」

### 戸惑いの連続

今井さんは、長男の耳の障害をきっかけに、同じ子どもを持つ母親どうしのネットワークでの活動は続けてきましたが、政治の経験は全くありません。この半年間、今井さんは、「戸惑いの連続だった」と振り返りました。また、国会では、いろいろな意見を聞き、真剣に議論しながら物事を決めていることも実感したと言います。法案の採決などでは、政治家としての責任の重さを感じているようです。

Q いちばん戸惑ったことは？

A 国会で飛び交う『ことば』ですね。わからないことばかりですから、しかたないんですが、『国会対策委員会』のことは『コクタイ（国対）』、『議院運営委員会』のことは『ギウン（議運）』と略しているんですが、最初は、さっぱりわかりませんでした。1つ1つ、覚えていく最中です。



Q 本会議に出席してどうだった？

A 圧倒されました。本会議場で、『ヤジ』を飛ばされながら、堂々と演壇で演説している議員を見ると、すごいなと思ったりもして。法案の採決にも参加しましたが、毎回、責任の重さを感じています。『今井絵理子は、この法案をどう考えるんだ？』と自問自答しながらやっていますが、実は、政治って、自分と

の向き合いなんだなと思います。でも、『本当にこれでいいのか』と思う場面ばかりです。

Q 採決で悩んだ法案はありますか？

A 賛成しましたが、『カジノを含むIR＝統合型リゾート施設の整備推進法』です。依存症の問題などを考えると、慎重であるべきだと感じる一方、日本全体の経済や観光に目を向けると、前向きに考えてもいいなと思うところの両面があります。いろいろな視点で判断しなければいけませんでした。

### 派閥で「White Love」

今井さんは、山東さん率いる派閥、「山東派」に所属しています。衆参両院で10人の小所帯ですが、閣僚経験者やベテラン議員が顔を並べる派閥として知られます。最年少の今井さんは、「派閥では、昼食会など定期的に会合がありますが、チームという感じがします。色んなことを正直に相談させてもらったり、情報交換したりできるのはいいと思います。新人にとって心強いです」と話しています。

そんな今井さんの入会で、派閥の雰囲気ガラッと変わったことがありました。参議院選挙直後の去年7月下旬、栃木県で行われた派閥の研修会です。懇親会場に備え付けられたカラオケセットで、カラオケ大会が始まり、今井さん自身もマイクを握って、大ヒットした「White Love」を熱唱しました。参加していた、自民党の重鎮、高村副総裁も、場の雰囲気に圧倒され、思わず苦笑い。ある派閥の議員は、「若くて新しいメンバーの仲間入りは、ベテランが多く、どちらかといえばもの静かな派閥の雰囲気を明るくしてくれている」と話していました。



## 障害児支援で勉強会設立へ

今井さんは、連日、午前8時ごろから、さまざまな政策を議論する党の会合に出席しています。障害児の問題に取り組んできたこともあって、文部科学省や厚生労働省が所管する政策を議論する会合には、可能な限り足を運んでいます。今井さんは、疑問に思った点は役所の担当者から直接事務所で説明を受け、不明な点は、また教えてもらいながら理解を深めているということです。

Q 政策を勉強する中で、問題意識の変化は？

A 問題意識は強くなりました。予算の概要を見て、地域によって、障害のある子どもたちを教える教員の数が減っているところがあり、支援が行き届いていないんじゃないかと感じました。専門的な教員の数を増やして、質も高めていく必要があると思います。ただ、政治って、魔法みたいに、突然、世の中を変えられるわけじゃないので、長期的な目で動かなければいけないと思っています。

Q 初めての通常国会。何か、具体的な取り組みは考えていますか？

A 実は、聴覚障害者の社会参加を考える勉強会を立ち上げようと思っています。例えば、今、『手話は言語』だと位置づける条例の制定が全国で広がっているんですが、国には、そうした法律がないんです。聴覚障害の人たちが、より暮らしやすい制度や法整備の実現に向けて動き出したいと考えています。

## 子どもの笑顔が見たいから

今井さんの活動は、障害児支援にとどまらず、子ども全体へと広がっています。背中を押しているのは、「子どもの貧困」です。厚生労働省の平成24年の調査によりますと、貧困状態にある17歳以下の子どもの割合「子どもの貧困率」は、全国平均で16.3%と過去最高となっています。調査は、昭和60年に始まり、3年ごとに行われているということですが、今井さんの出身地・沖縄県は、より深刻な状況のようです。去年1月に沖縄県が公表した独自の調査によりますと、沖縄の子どもの貧困率は29.9%となっているの



です。こうしたこともあって今井さんは、現在、山東議員と一緒に、生活に困窮する子どもたちに、食事などを無料で提供する「子ども食堂」を増やしていくことができないかなど、子どもたちへの支援の充実に向けた取り組みを進めています。

Q なぜ、子どもに関連する活動を中心に取り組んでいるのですか？

A 『子どもたちの笑顔が見たいから』。ただそれだけです。どんな環境のもとに生まれても、どんな環境で育っても、命は平等ですよね。でも、教育が1歩間違った方向に進めば、すごくつらい人生になってしまう。だから、まずは、国として、子どもたちに、環境の違いはあっても、教育の機会などが、平等に提供される社会を実現していきたいという思いが強くあります。子どもたちに笑顔でいてもらえるように。

## 取材を終えて

20年ほど前は、テレビの向こうの憧れの存在だった、SPEEDの今井さんは、飾り気のない、気さくな人柄で、丁寧に語ってくれました。「歌手として、ファンに夢を与えたいと思って活動してきましたが、政治家としても、たくさんの人に夢を与えていきたい」と話す今井さん。政治家として、何をどう実現させていくのか、引き続き、ウォッチしていきたいと思います。



月刊情報誌「太陽の子」、隔月本人新聞「青空新聞」、社内誌「つなぐちゃんベクトル」、ネット情報「たまにブログ」も  
大阪市天王寺区生玉前町5-33 社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所発行